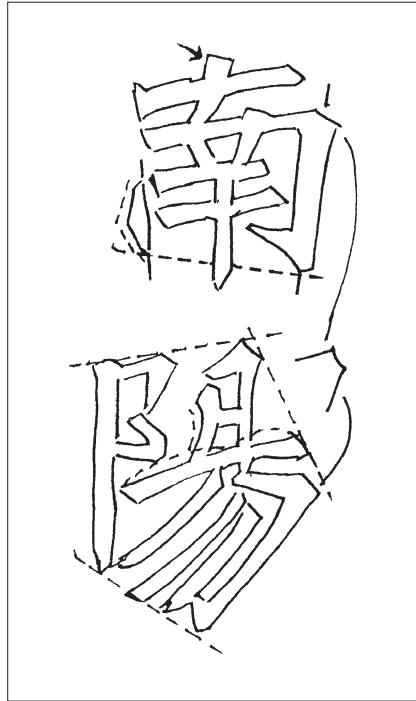


◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

張猛龍碑 (北魏)



- 1、字句 南陽
- 2、形式 半紙タテ使用。中央に「南陽」と臨書し、左余白に落款「〇〇臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、概観 今月から楷書の「張猛龍碑」を課題とします。張猛龍碑は、北魏を代表する楷書で、正光三年(五二二)に建てられ、石碑はいまも現存し、曲阜孔子廟に保存されています。碑面は楷書で二十六行、一行四十二字を刻し、碑陰はこの碑を建てるにあたり関係のあった人々の位官、氏名を書きつらねたものです。碑額は「魏魯郡太守張府君清頌之碑」と三行に書かれています。
- 4、各字のポイント

南 真上から入筆し、かなりの右上がり。二画目矢印から入筆。三画目三角形に。四画目の転折では少し肩を落とし、力を抜かず縦画。ハネでは筆を突く。「羊」の横画は六十度ぐらいの角度より入筆。

陽 偏と旁の位置関係に留意。旁一画足りないが古典この形が多い。旁の一画目左に反らし、二画目鋒先で入筆し、転折は一画書く感で。四画目は四十五度の角度で入筆。六画目は鋒先で入筆し、転折で筆を突く。左払いは長めに。

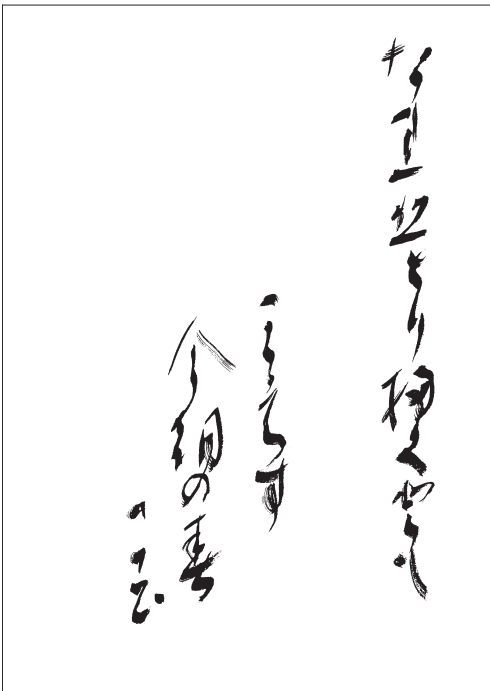
半紙課題(予告) (一月二十二日締切)

平岡華雪先生書 霜を履んで堅氷至る。(易経)



訳：霜が降りると間もなく堅い氷がはるだろう。

平岡華雪先生書 誰ひとり掃くとも見えずけさの春(蓼太)



昇試審査総評

立川 遊汀

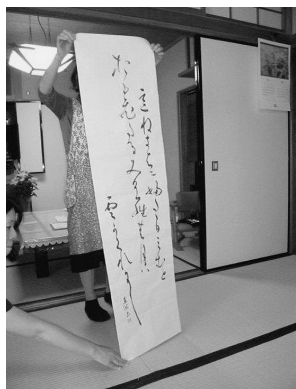
書道会審査規定に従い、10時審査開始、特に点数の多い準推薦作品は、再度の確認審査を行なう。他は1回の審査で決定。

安定した線質、行の流れ、リズム、布置章法、墨量等、基本に忠実に審査。

特に構成で、従来かなは、半折縦2・3行書きが一般的だったが、今回は用紙に対し、上下2段に表出された作品が半数近くあった。新しい作風に挑戦する意欲を大切にしたい！
同時に、用紙に対する余白の取り方等、用紙を制しきれない未熟な作品も数点あった。一部(条幅)は最上位に位置することを意識してほしい。皆様が精魂こめて書かれた作品も審査員も一点一画を見逃すまいと真剣に審査した。17時審査終了。
惜しくも昇格を逸した方は、次回春期に向けて今から精進されますよう！



条幅審査



野田 麗夕

蝉が鳴き止み、虫が日暮れと共に鳴き出し、早い秋が感じられる九月二十九日、秋期昇段試験が行なわれました。

準推薦からの条幅審査。実力者がありますます充実味を發揮され、レベルの高い激戦にこちらも緊張と共に責任の重さを感じつつ審査させて頂きました。

今回、漢字部・条幅作品の中に「盡」の誤字が多く、かな部・条幅作品には草書の崩しや変体仮名に不明瞭なものが見られました。曖昧な文字を使うことは誤字の元です。師匠のお手本を鵜呑みにせず、必ず字典をひくことを習慣付けたいものです。

随意部は自由課題を得意とする書体で受験できますので、意欲作が多く、バラエティーに富み、多彩でした。

落款は、本文同様のウェイトをおき、落款に対する意識を高められることを望みます。



高橋香樹先生

半紙審査



野田麗夕先生



立川遊汀先生



福田玉翔先生



水貝潮華先生

平成二十六年秋秋季昇級試験

審査日 九月二十九日(月)

審査員 高橋香樹・野田麗夕

立川遊汀・福田玉翔

水貝潮華

張猛龍碑



(南陽)白水人也。其氏族分興。源流所出。故(已備詳世錄)



条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレンジしてください。また条幅だけ出品も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五四〇円。



◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A

高橋香樹主幹書

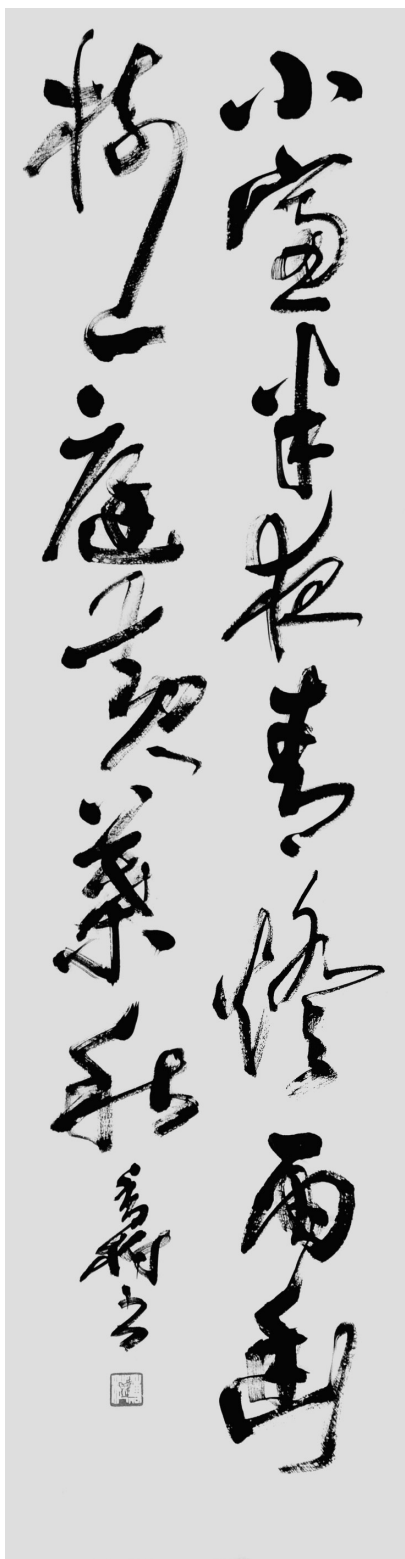
小窓半夜青燈雨 幽樹一庭黃葉秋 (真山民)
山窓半夜青燈の雨、幽樹一庭黄葉の秋



B

高橋香樹主幹書

今月は条福二作書くことになったので、一作は楷書としました。楷書はとかく硬くなりがちですが、運筆の呼吸に変化をもたせ、起筆と転折を厳しくする。これが私にとって一番気楽に書ける楷書です。「窓」は古典にいろいろな形があります。字典を参照されたい。



こちらは草書で書きました。連綿線は「雨幽」、「樹」二ヶ所ですが、他も意連綿を意識した作としました。「庭」の一画目の点を「樹」の収画の延長線上に置き、「葉」の一画目の点も「黄」の左払いの延長線に置くことにより行に動きを与えることができます。墨継ぎは「雨」と「庭」です。

訳：夜半の窓へ、雨は青い灯火をうけて降り、ひっそりした庭の樹々に、秋は黄葉をもたらす。

予告 (一月二十二日締切)

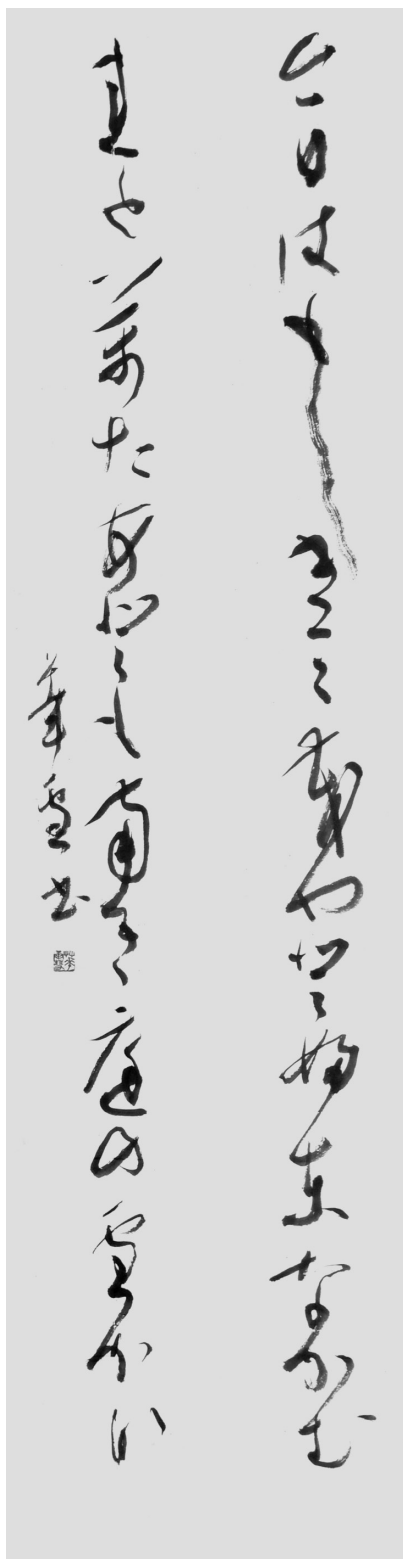
閑収亂帙思疑義 一穗青燈萬古心 (菅茶山)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

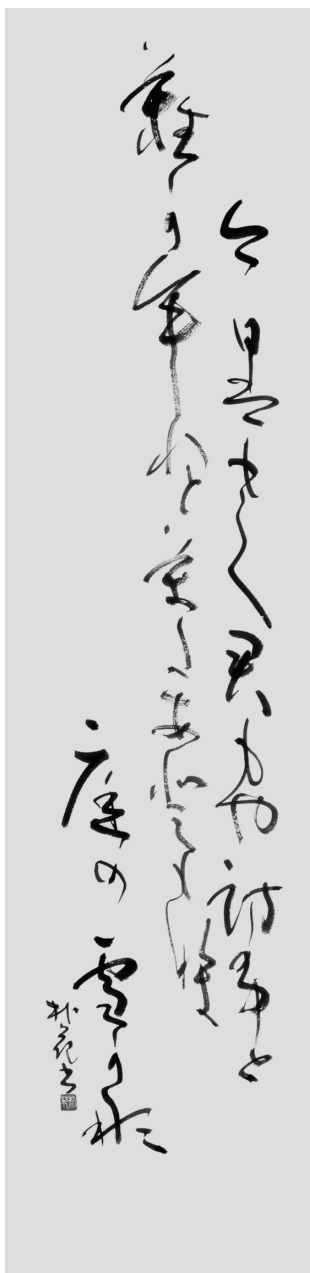
けふはもし君もや訪ふとながむれどまだ跡もなき庭の雪(か) (新古今和歌集 皇太后宮大夫俊成)



B

向山朴花先生書

今日盤も之君もや訪ふと難可牟れと萬多あ登も那支庭の雪可那



学び方

歌意：君が訪ねて来るかと眺めるけれど、まだ足跡も無い庭の雪であることよ。
 三行書きです。二行目、稍右に寄せて行間に変化をつけました。一、二行目は放ち書きが多い為、二行目で次第に渴筆になる中流れのある長い連綿を用いました。幅を出し減り張りを効かせて一行目と照応させました。二行目下部は三行になるので、行間が窮屈に見えないよう配慮して字間の密度を高めて連綿を重ねました。
 隣合せになる文字は、常に選ぶ文字への字配りも考慮のひとつです。
 下七句は文字数が少ない為、布置の加減に試行を重ねました。墨を入れ引き締めることで、上部の余白がすっきりと生きることにもなります。

新古今和歌集、巻第六冬歌(二六六四)に載る。作者の皇太后宮大夫俊成とは藤原俊成のこと。歌人・編者として、長きにわたり活躍。書風は清新温雅で、歌壇の重鎮の地位を示した。この歌は、俊成の甥、藤原實定の訪れを待つ心を詠んだものである。
 因みに、続く六六五の歌は、實定の返歌で、俊成がこの秀れた若き甥との交流を楽しんでいたことが伺える。定家は、俊成の子。

予告 (二月二十二日締切)

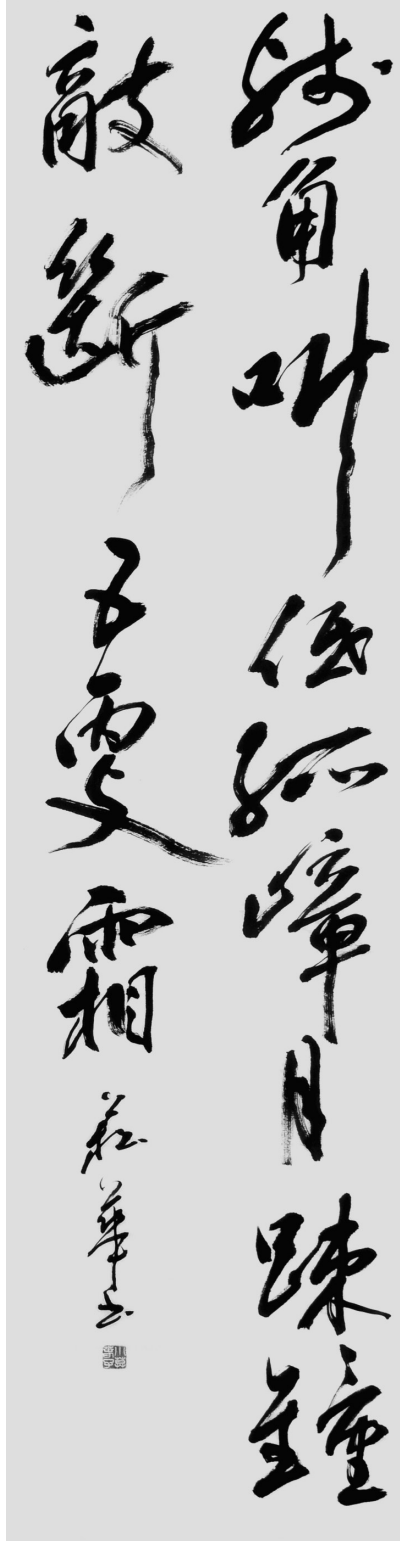
山にして遠裾原に鳴く鳥の聲のきこゆるこの朝かも (島木赤彦)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条幅部 随意参考

小暮 菘華 先生書

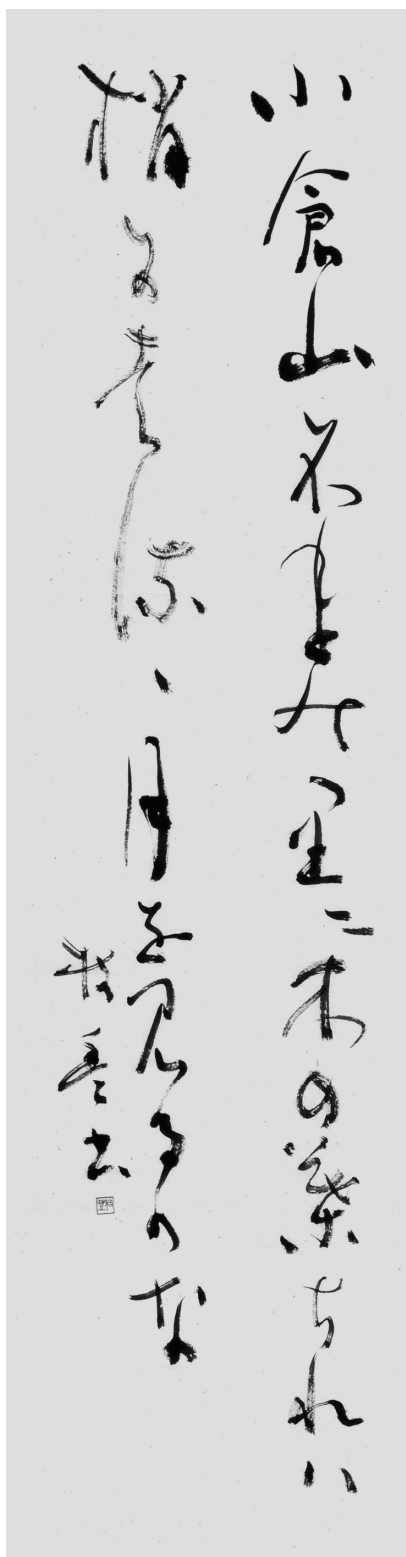
殘角叫低孤嶂月 疎鐘敲斷五更霜 (顏潛庵)
 殘角叫び低る孤嶂の月、疎鐘敲き断す五更の霜。



訳：角ふえの声のひびき残った処には一峯の月が低くかかり、夜明けの霜には折々間遠く聞える鐘の音がたえた。

鈴木 枝豊 先生書

小倉山ふもとの里に木の葉ちればこずゑにはる、月をみるかな (新古今和歌集 西行法師)
 小倉山不もと能里二木の葉ちれ八梢尔者流、月を見る可な

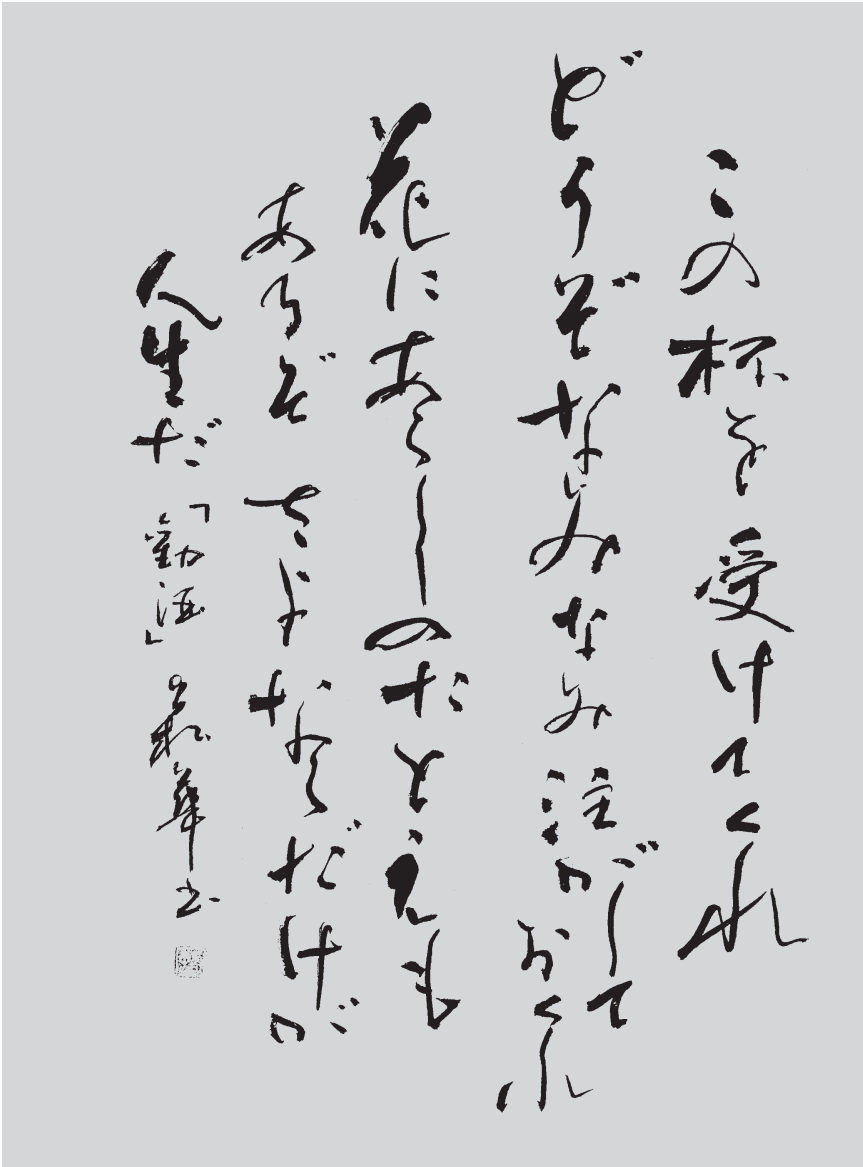


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

小暮 菘華 先生 書

- 文の内容をよく捉えた上、配字に工夫を。
- 一、二行は一筆で、三行目はやや空けて墨継ぎ。
- 「人生だ」で改行、落款を下に続けた。

この杯さかづを受けてくれ
 どうぞなみなみ注つがしておくれ
 花にあらしのたとえもあるぞ
 さよならだけが人生だ (井伏鱒二)

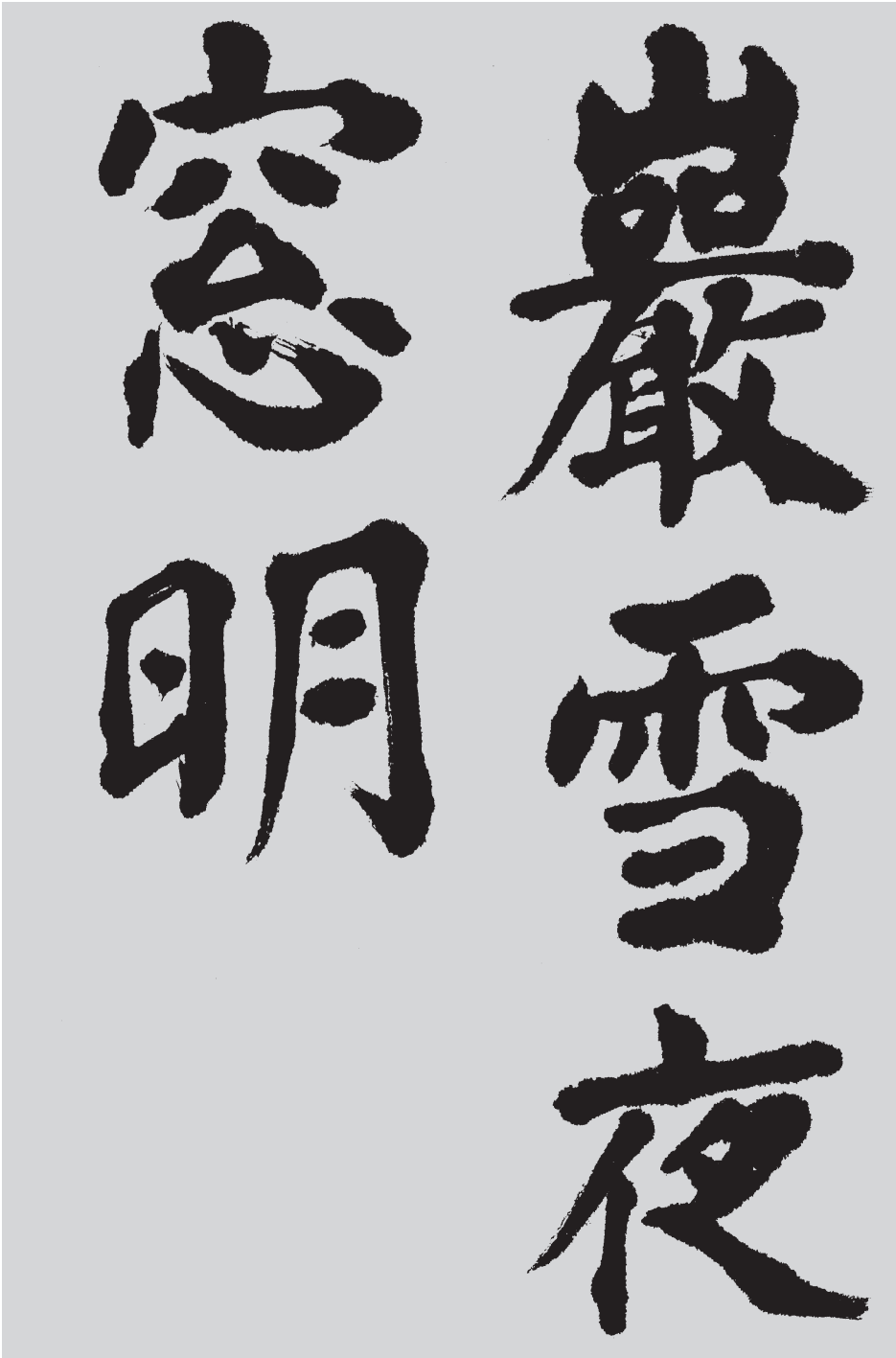


井伏鱒二いぶくますじ (小説家)
 明治三十一年広島県
 生まれ。平成五年阿
 佐ヶ谷にて九十五才
 で死去。

于武陵うぶりやうの詩「勸酒」
 に付した井伏の訳は
 妙訳として名高い。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

巖雪夜窓に明かなり(許渾)
訳：山の雪が映えて窓が明るい。

〈分間の処理〉

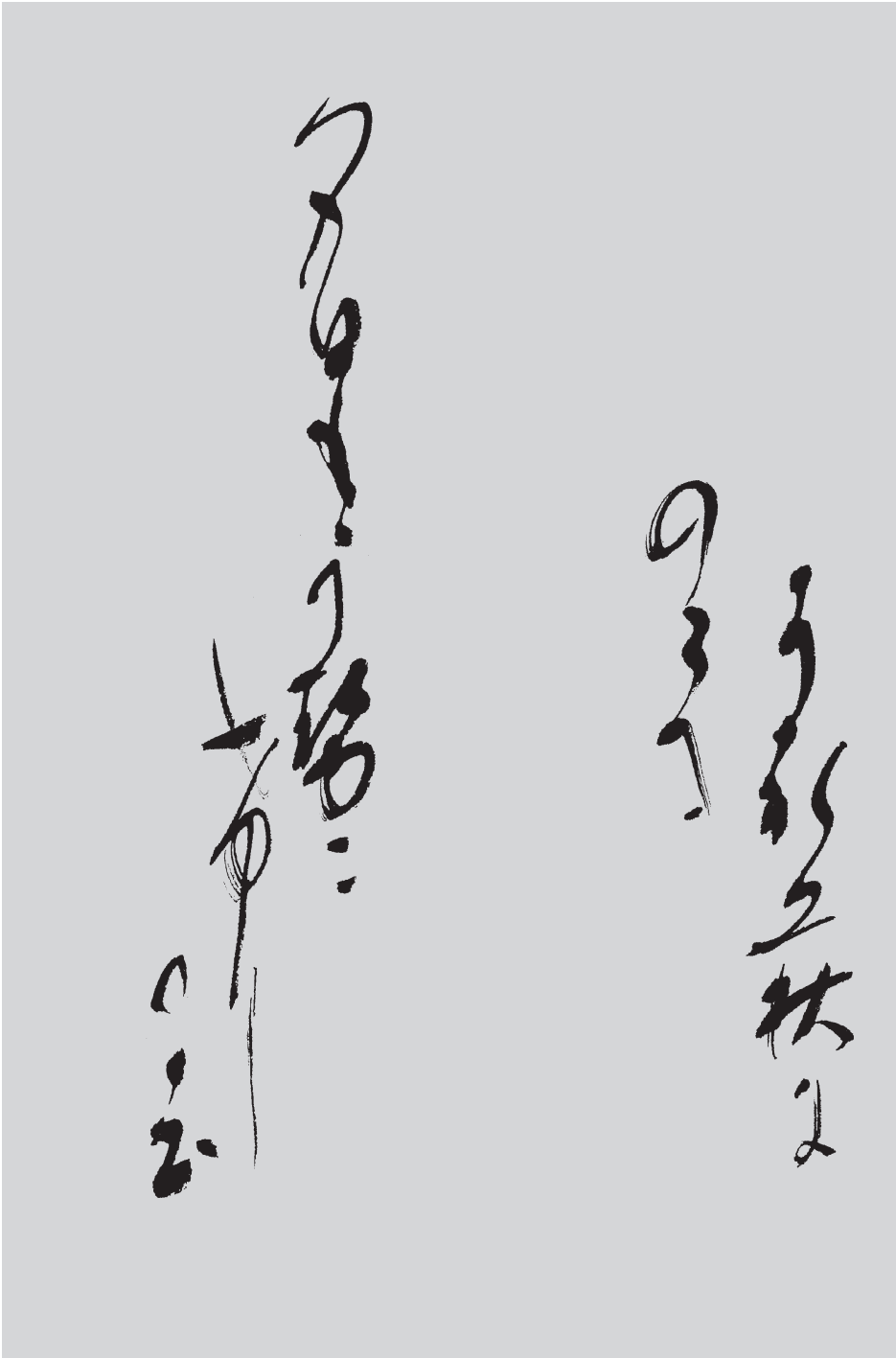
「巖」の分間の処理は、画数が多いので大いに神経をつかう。この字は、この作品の初めの字ですから、運筆にビビりはマイナス。伸びやかに運筆し、分間もスッキリとさせたい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

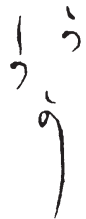
①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

枯れ萩に残る夕日もうせにけり (山龍)
 可礼萩のこる夕日もう勢二希り



〈自得するまで〉
 「可」は「う」と似ていますが、筆意がちがいます。下記図版参照。特に、二画目は鋒先を包み込む筆意、ここがポイント。「のこる」について、特に初歩段階にとって、この筆意を習得してほしい。「こ」で筆圧が加わり、末筆から次の「る」に筆圧も移行、転折から加速、末筆の結びは、穂先を当てて、かるく返します。

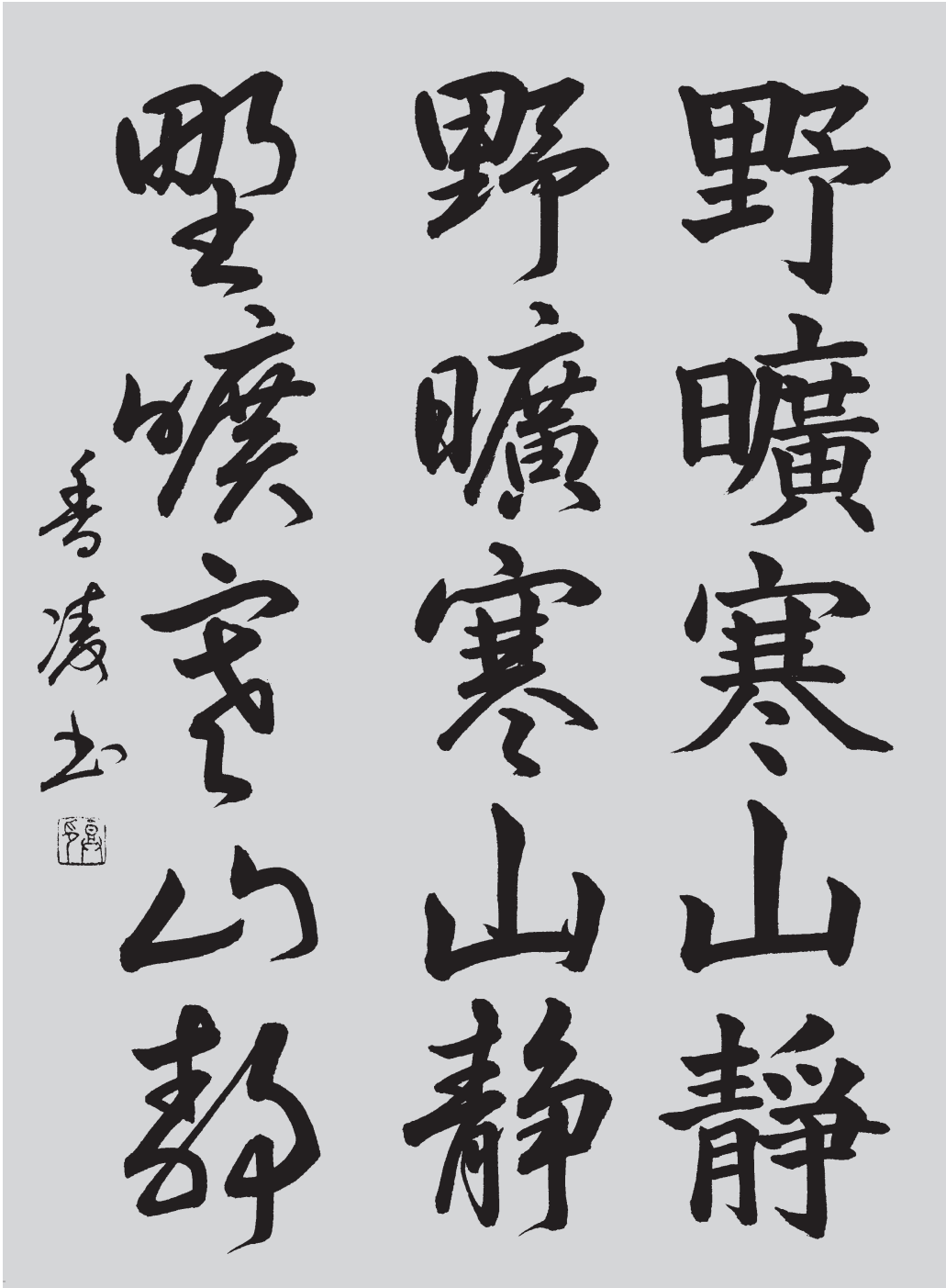


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

高橋香凌先生書

野曠寒山靜（王維）
野曠のひろくして寒山かんざん静しずかなり。



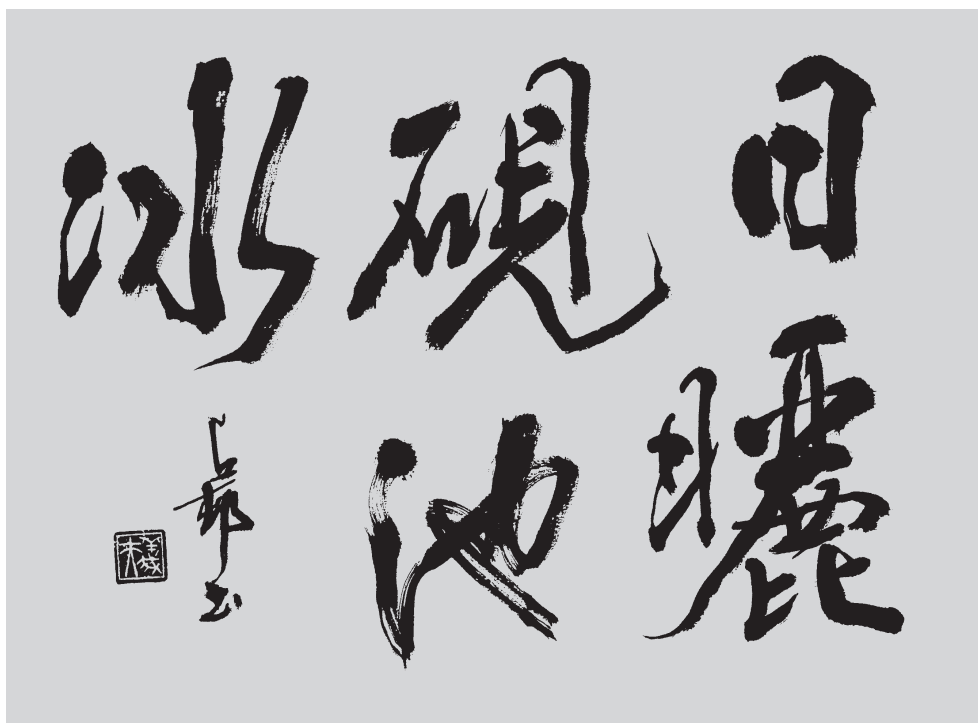
冬のさむ空の山野の光景

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

戸張 丘邨 先生 書

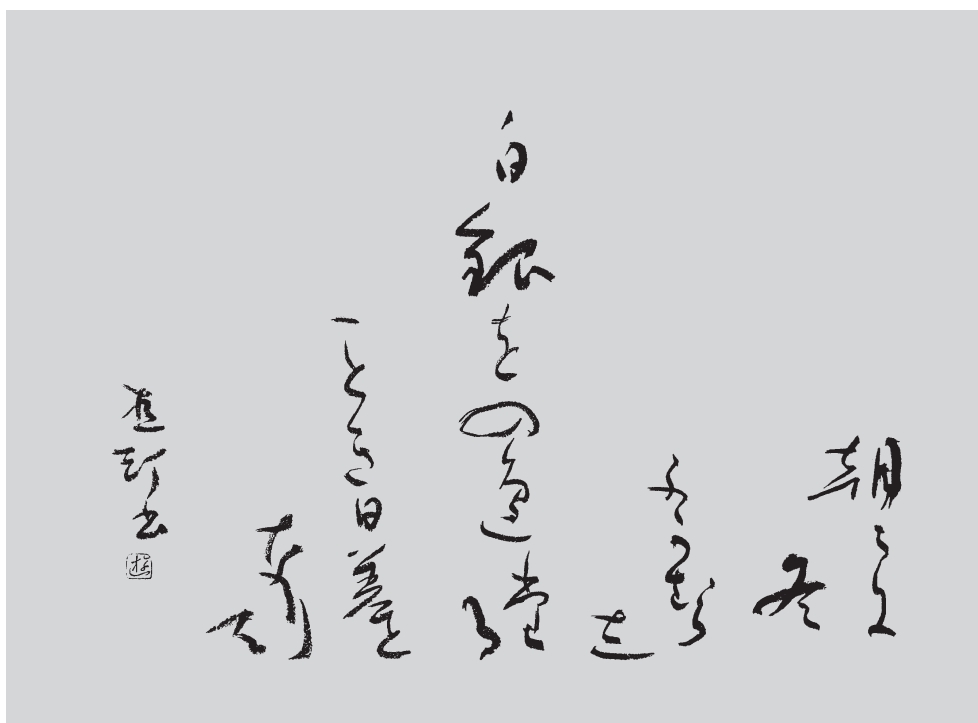
日曬(あび)硯池水(いんちのみづ)(徐柱臣)
日にさらす硯池の水。



訳：凍った氷を解かさんとして硯を日光にあてる。

立川 遊汀 先生 書

朝夕(あさゆふ)に冬(ふゆ)ふかむらし白銀(しろがね)を延(の)べたる(の)ごとき日差(ひざし)となりて
朝(あさ)々(々)に冬(ふゆ)ふかむらし志白銀(ししろがね)をの邊堂(のへだう)ること(の)とき日差(ひざし)となりて
朝(あさ)々(々)に冬(ふゆ)ふかむらし志白銀(ししろがね)をの邊堂(のへだう)ること(の)とき日差(ひざし)となりて (宮柊二)



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

ゴム長靴をはいた足の裏にや
がて川の響きが伝わってくる。水
のにおいも感じられてきた。

人間、今が一番若いんだよ。
明日より今日の方が若いんだから。
いつだって、その人にとって今が一番
若いんだよ。

課題 1 (初段階以上)

人間、今が一番若いんだよ。
明日より今日の方が若いんだから。
いつだって、その人にとって今が一
番若いんだよ。

永六輔のことば

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題 2 (初段階以下)

ゴム長靴をはいた足の裏に、やがて川の響きが伝わってくる。水のおいも感じられてきた。

「月光のさざ波」 立松和平